

# 心の復興 きつと見える

## 被災地女性の 笑顔写真集に

### 村山さん(灘区)ら 来年6月出版目指す

「笑顔」の力で被災地に活気を呼び込もうと、神戸市灘区八幡町四の主婦村山愛弥さん(27)らが、女性数百人の笑顔を集めた写真集の準備を進めている。一般市民からもモデルを募集する予定で、「人が笑う姿を見ると自分も自然に笑みが浮かんでくる。心の復興をアピールできるような写真集にしたい」と意気込んでいる。

今秋、神戸市中央区のオディレクターの水谷孝次さん(ガスタブラザ)で、ボスターがポトアイランドのビル展「Merry in マワリ畑」で、公募した五百名「KOBÉ2001」が開く人の女性の笑顔撮影。それらが集ったのがきっかけ。アートそれぞれをB1判の特大ポスターに仕立て、館内中に展示した。



試作した本を手に、「神戸の元気をアピールしたい」と話す村山さん(神戸市灘区)

赤ちゃんから九十八歳のお年寄りまでモデルは様々で、「世界一のお嫁さんになりたい」「メチャメチャ神戸大好き」など、一人ひとりが夢や思いをボスターに書き込んだ。東京やロンドンなどでも同様の写真展を開いた水谷さんは「震災という負の経験があったせい

か、神戸の女性の笑顔は特に生命力にあふれていた」と話す。モデルとして参加した村山さんも、震災で自宅が全壊、親類や近所の知り合いが亡くなった経験を持つ。「笑顔のボスターを見てみると、みんな頑張り震災から立ち直りつつあると、しみじみ感じた」という。

### モデル、スタッフ募集

現在、市内の著名人へのメッセージを依頼したり、構成や装丁を検討したりするなど準備を進めており、海外や全国の人たちにも見てもらおうと、サッカー・ワールドカップの試合が行われる来年六月ごろの出版を目指す。

編集スタッフやスポンサー、新たに撮影する約百人のモデルを募集しており、「一般市民から企業、団体まで、震災から立ち直ろうと頑張っている人なら、だれでも気軽に参加してほしい」と呼びかけている。問い合わせは村山さん(電話078・871・2697、ファクス078・881・8419)へ。

これまで本作りに携わっ